

TOTO

ウォシュレット® 一体形便器 (便器部)

BY

◆“ウォシュレット”はTOTOの登録商標です。

必ず実施

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

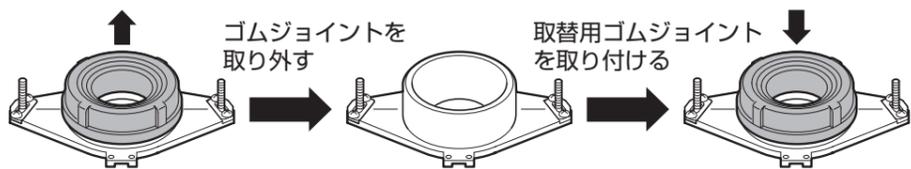
従来にはない施工が必要です。

既設排水ソケットのゴムジョイントを必ず便器に取り付けてください。 → 取付方法 ② から ③ を参照ください。

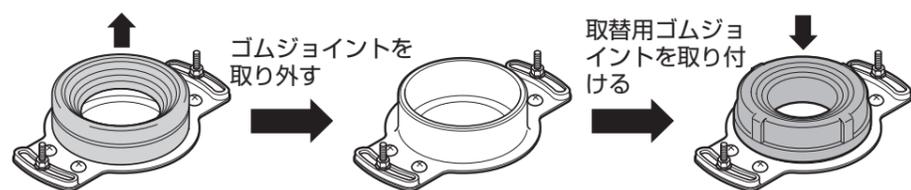
従来製品からの主な注意点

既設排水ソケットのゴムジョイントを必ず交換してください。

既設排水ソケットT53S75Dの場合



既設排水ソケットEKB101の場合



交換しなかった場合、便器が正しく取り付けず故障や水漏れの原因となります。

安全に関するご注意 (安全のために必ずお守りください)

施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
	注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	禁止 は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「禁止」を示します。		必ず実行 は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。
--	--	--	---

注意

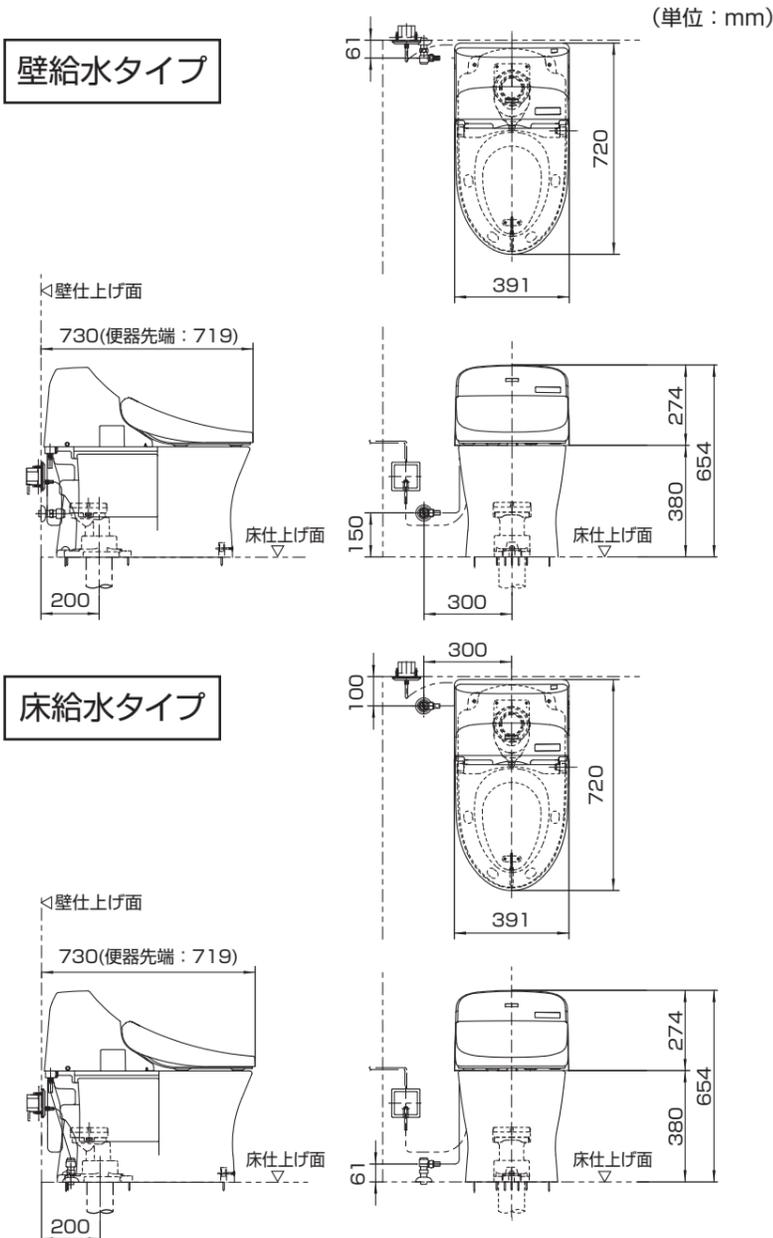
	禁止 便器に強い力や衝撃を与えない 便器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
	必ず実行 設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する 正常な取り付けができなくなる可能性があります。 設置工事は、この説明書に従って確実に 故障や水漏れの原因になります。

同梱部品

※部品があるか、下記を参照して確認してください。

<p>便器本体</p> <p>便器本体 (1個)</p>	<p>排水ソケット</p> <p>排水ソケット (1個) ※ゴムジョイント付き</p>	<p>ゴムジョイント</p> <p>ゴムジョイント (1個)</p> <p>木ねじ (φ6×40 : 4本)</p>
<p>サイドカバー</p> <p>サイドカバー(右) (1個) サイドカバー(左) (1個)</p>	<p>固定金具類</p> <p>木ねじ (固定片用) (φ5×50 : 2本)</p> <p>固定片 (1個)</p> <p>木ねじ (排水ソケット用) (φ5×50 : 3本)</p>	
<p>化粧キャップ類</p> <p>皿木ねじ (前固定用) (φ5.8×56 : 1本)</p> <p>化粧キャップ (前固定用) (1個)</p> <p>木ねじ (後固定用) (φ4.8×63 : 2本)</p> <p>化粧キャップ (後固定用) (2個)</p> <p>ワッシャー (後固定用) (2枚)</p>		<p>その他</p> <p>施工説明書 (1部)</p> <p>位置決めシート (1部)</p>

商品セット図



取付方法

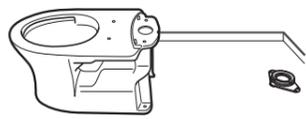
施工が簡単になりました！
動画はこちら



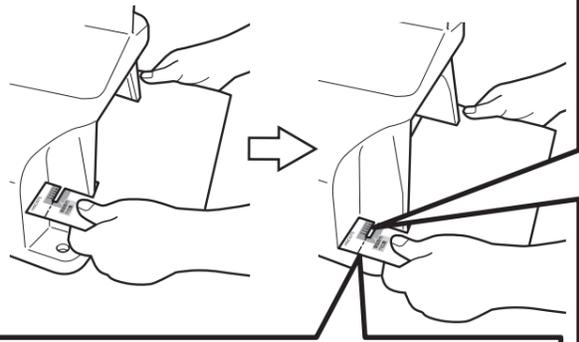
※通信料がかかります。

1 位置決めシートで便器取付穴位置をけがく

①開梱する。
※**施工前に便器取付穴位置を位置決めシートにけがいてください!**

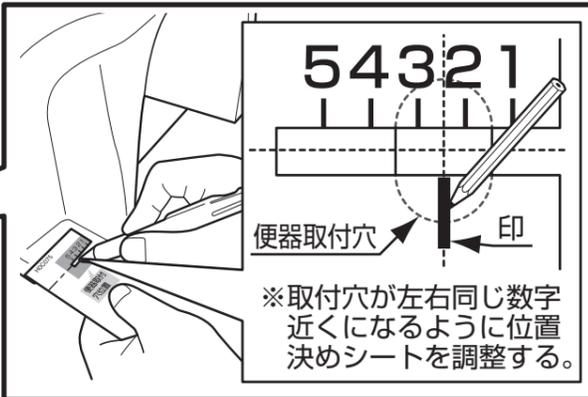


②便器後側から**便器取付穴**の上に位置決めシートを置く。



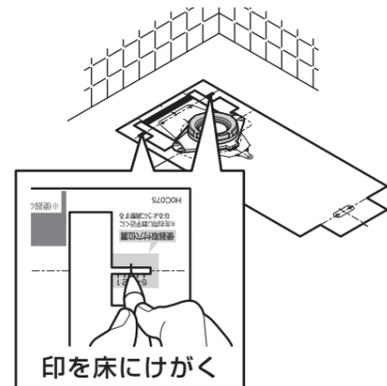
便器取付穴の上に位置決めシートを置く。

③位置決めシートに**左右**の便器取付穴心の印を付ける。



④位置決めシートを広げ、排水管の中心線にあわせ床面に置く。

⑤③で付けた印を床にけがく。



④の作業から位置決めシートを広げて作業を行ってください。

※壁から排水心までが120mmの場合、位置決めシートは使用できません。
※便器の形状バラつきにより、便器ごとに取付穴位置が異なります。

既設排水ソケットT53S75Dの場合

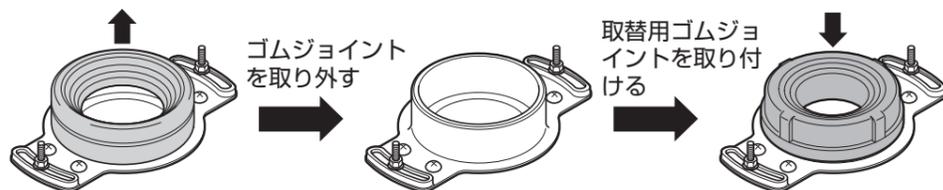
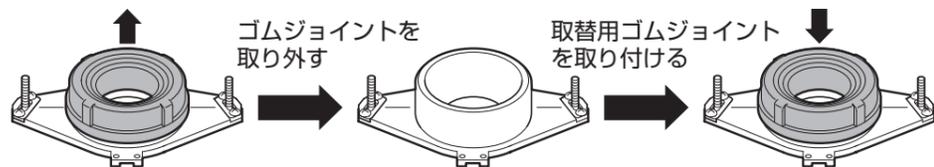
既設排水ソケットEKB101の場合

2 既設排水ソケットのゴムジョイント交換

2 既設排水ソケットのゴムジョイント交換

①既設排水ソケットのゴムジョイントを取り外し、
取替用のゴムジョイントを取り付ける。

①既設排水ソケットのゴムジョイントを取り外し、
取替用のゴムジョイントを取り付ける。



※取替用ゴムジョイントが浮き上がらないようにしっかりと押さえてセットしてください。

※取替用ゴムジョイントが浮き上がらないようにしっかりと押さえてセットしてください。

⚠注意

⚠注意

・既設排水ソケットに割れ、クラックなどの異常がある場合は、水漏れ・漏気のおそれがあります。施工の際、必ず既設排水ソケットに異常がないことを確認してください。

・既設排水ソケットに割れ、クラックなどの異常がある場合は、水漏れ・漏気のおそれがあります。施工の際、必ず既設排水ソケットに異常がないことを確認してください。

・ゴムジョイントが排水ソケットにきちんと取り付いていることを確認する

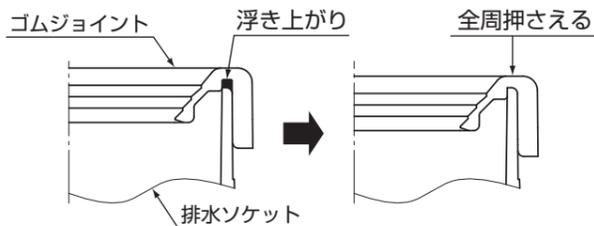
・ゴムジョイントが排水ソケットにきちんと取り付いていることを確認する

きちんと取り付いていないと水漏れするおそれがありますので必ず、ゴムジョイントを押し込んで便器を取り付けてください。

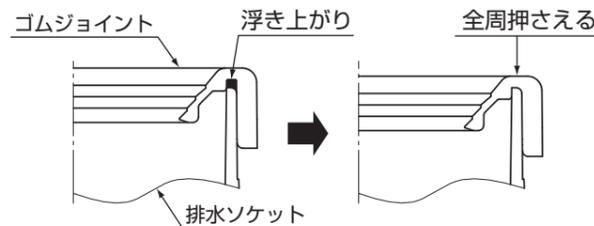
きちんと取り付いていないと水漏れするおそれがありますので必ず、ゴムジョイントを押し込んで便器を取り付けてください。



必ず実行



必ず実行

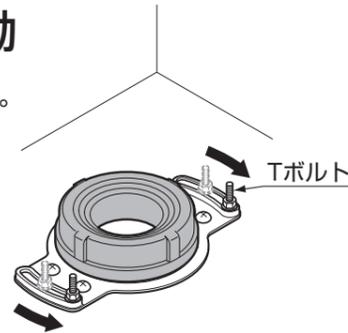
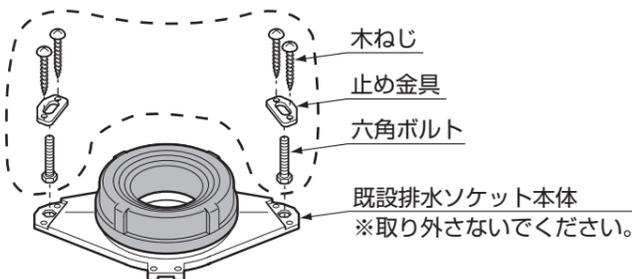


3 六角ボルトの取り外し

3 Tボルトの移動

①木ねじ、止め金具、六角ボルトを取り外す。

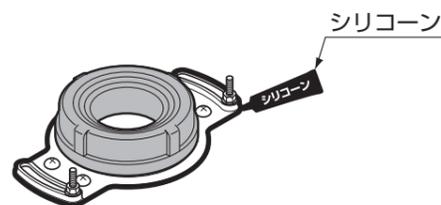
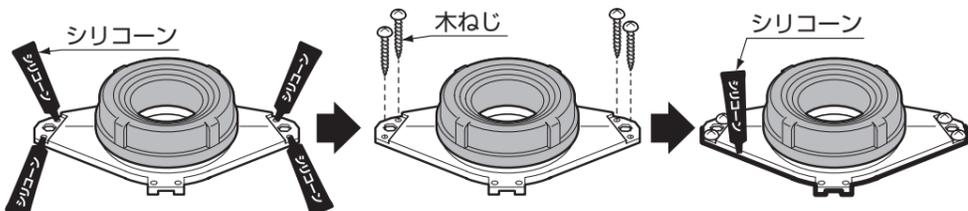
①Tボルトを前方へずらす。



②既設の排水ソケット取付穴（4カ所）にシリコーンを打ち、
取替用ゴムジョイントに同梱されている木ねじ（4本）で固定する。

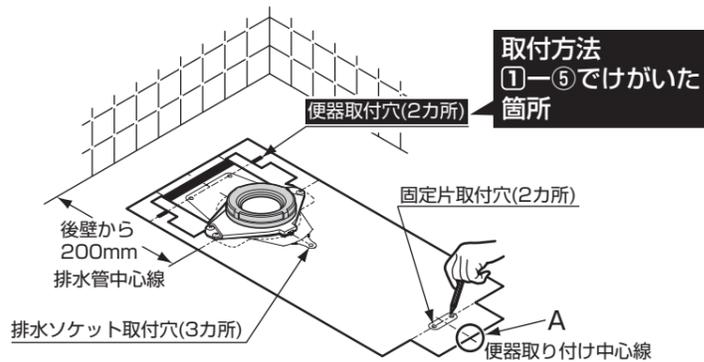
②既設排水ソケットの全周にシリコーンを打つ。

③既設排水ソケットの全周にシリコーンを打つ。



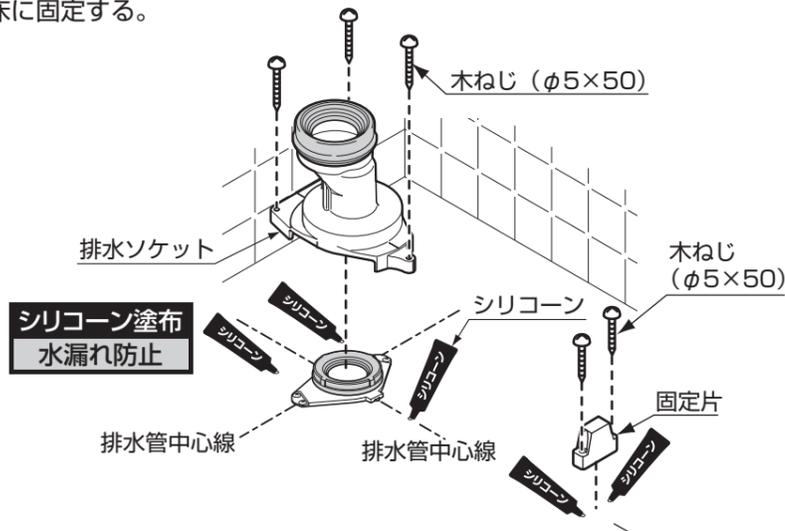
4 位置決めシートで取付穴位置をけがく

- 給水管取り出し範囲に止水栓があることを確認する。
※給水位置が適切でないと、止水栓が商品に干渉することがありますので、ご注意ください。
- 固定片取付穴位置および排水ソケット取付穴位置（5カ所）をけがく。
- 鉛筆など（あとで消せるもの）で下図A（便器取り付け中心線）に印をつける。
- けがいた取付穴位置にφ3程度の下穴をあける。
※鉄材、鋼材がある場合はφ4.5程度の下穴をあけてください。



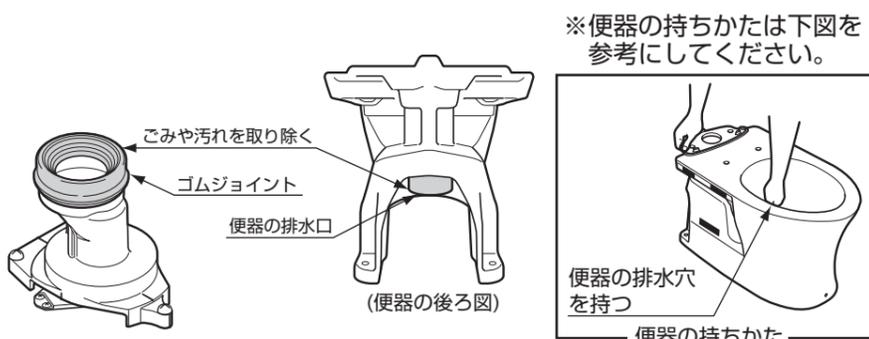
5 固定片・排水ソケットの取り付け

- 排水ソケットの取付穴(3カ所)にシリコンを打ったあと、木ねじを入れ、確実に締める。
- 固定片を所定の位置にあわせて、下穴にシリコンを打ったあと、木ねじで床に固定する。



6 便器の固定

- 便器排水口および排水ソケットの接続部周辺のごみや汚れを取り除き、便器排水口を排水ソケットに差し込む。



- 便器後側の取付穴（2カ所）にシリコンを打ち、木ねじ、ワッシャー、化粧キャップ（後）で固定する。
※締め過ぎて便器を割らないように注意してください。
- 便器前側の取付穴に皿木ねじを差し込み、固定片に便器を固定し、ねじの頭に化粧キャップ（前）を差し込む。
※便器前側を固定する際は、床にけがいた印（図A）と便器前方の穴をあわせてください。
※最後の締め増しは、手締めにより行い便器を割らないように注意してください。

注意
最後の締め増しは、手締めにより行い便器を割らないように注意してください。



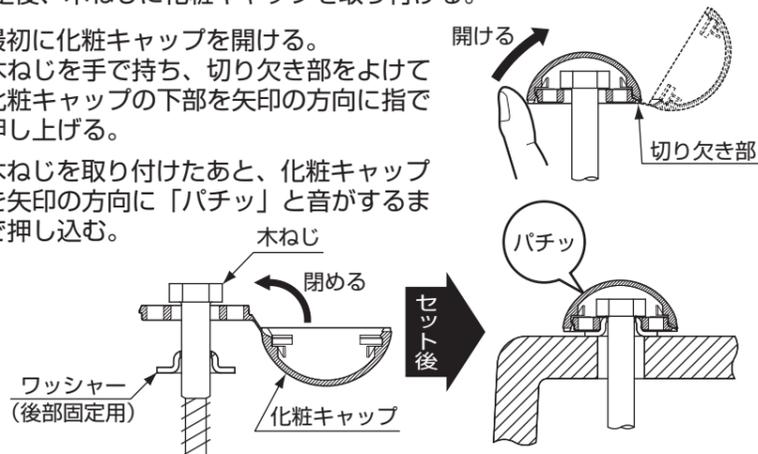
※壁面に幅木があり便器が取り付けられない場合には、幅木をカットしてください。

注意

必ず実行 便器後部の固定を必ず先に行う
前側の固定を先に行くと便器が後方へスライドし、ゴムジョイント部から水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

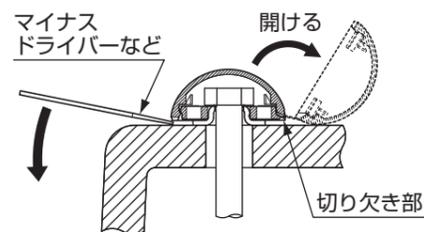
- 便器を固定後、木ねじに化粧キャップを取り付ける。

- 4-1 最初に化粧キャップを開ける。
木ねじを手で持ち、切り欠き部をよけて化粧キャップの下部を矢印の方向に指で押し上げる。
- 4-2 木ねじを取り付けたあと、化粧キャップを矢印の方向に「パチッ」と音がするまで押し込む。



化粧キャップの取り外しかた

マイナスドライバーなどを、化粧キャップの切り欠き部をよけて下部に差し込み、矢印の方向に押さえて開ける。



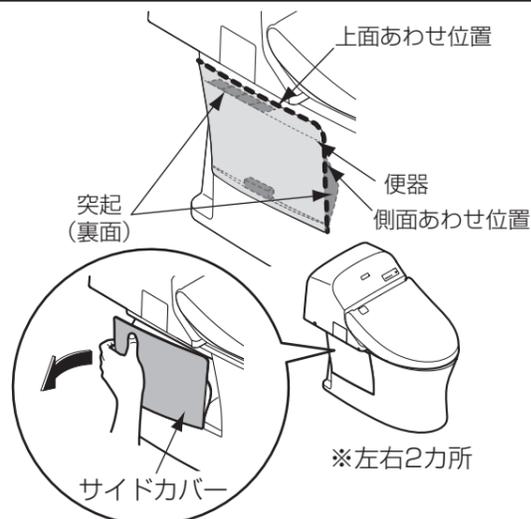
ウォシュレット本体の取り付け

ウォシュレット本体の取り付けはウォシュレット本体同梱の施工説明書に従って取り付けてください。

サイドカバーの取り付け／取り外し

<取り付けかた>
サイドカバー裏面の突起が便器に接するようにあわせ、すき間が目立たないように取り付け。
※面ファスナー部（3カ所）をしっかり押さえて、サイドカバーが外れないことを確認してください。

<取り外しかた>
サイドカバー後方を持ち、手前に引いて取り外してください。



取り付け後の確認

- 試運転後は、すべての接続部において水漏れしていないか確認してください。取り付けが不十分な場合、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
- 試運転(洗浄)後、便器ボウル内に配管の切粉など異物がないことを確認してください。もらいさびなど異物付着の原因となるおそれがあります。
- 陶器表面に傷などが無いことを確認してください。陶器表面に金属類(時計のバンド、ベルトのバックルなど)が強く接触したり、こすれたりすると黒や銀色のスジ状の跡が付くことがあります。スジ状の跡が付いた場合は、当社製品「蛇口まわりのクリーナー」で軽くこすって除去してください。
- 施工したあとは、便器ボウル内に油などの見えない汚れ(コーキング剤、配管用接着剤など)の付く場合がありますので、トイレ用中性洗剤(研磨剤なし)を使って、必ず汚れをふき取ってください。便器ボウル面の洗い残りの原因となります。

※本紙記載の品番は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。